

「近所との関係がこじれている…」

相談

娘と2人暮らしです。近所との人間関係で悩んでいます。40年以上暮らしていますが、近くに住む男性に、あることないこと、悪口を言いつらされてきているようです。町内会の役員の人たちに伝えても真剣に取り合ってもらえません。サービス付き高齢者住宅にでも越そうかと思いましたが、費用が高く、とても無理です。重い持病があり、車いすを使っています。病院通いが欠かせず、毎日が大変です。どうやったら心穏やかに暮らせるでしょうか。

(東京都、70代女性)

よろずご指南

生き方

アドバイス

経済的問題に加え、人間関係や慣れ親しんだ空間の喪失などが待ち構えています。

4割超が悩み

近所付き合いで困る方は意

伝言ゲームのように間違っただのか。うわさ通いかもしれません。そこで、あなたへの提案です。「人のうわさも七十五日」ということわざのように時間の経過を利用すれば、うわさは治まることもあります。長年続いていれば対処方法を変える必要もありません。

自分を変える

最初の対処方法は、諦めが肝心ということではなく、積極的に時間の経過の利用に挑戦していただきたいということです。第2の対処方法は、自分を変えることです。あなたの困る中で、相手との精神的距離をもう少し置いて、深入りされず、会えば会釈

「柳に風…」と距離置いて

「遠くの親戚より近くの他人」ということわざがあります。今もこの言葉は生きていると言う人もいれば、近所付き合いが希薄になっている現代社会では死語に近いと感じる



アイ・クリニック院長
精神科医
吉本 博昭さん (富山市)

回答

外に多く、日本法規情報株式会社東京)の調査では43%。その内訳は、騒音と答えた人が31%と最も多く、次いでペットの排せつ物や鳴き声、違法駐車、ごみの不法投棄、境界線の問題、理由が分からないが難癖をつける人がいる、たばこの煙・ポイ捨て、車体への傷と続いています。それ以外に、あいさつやうわさ話などいろいろな問題が原因となります。

あなたは、既に相談するなどの対

この悩みならば、若い人は住居を変える選択肢もあるかもしれませんが。しかし、相談者(以下、あなた)には、40年以上住み慣れた家があり、地域から離れるデメリットは大き



り事は一種の対人関係の問題で、相手か自分、両者が変わるかで解決可能です。もちろん相手が変わればラッキーですが、相談の文章を読む限り難しくそうです。でも、確実に簡単な方法も自分か自分か

をやる程度、悪口も柳に風というようにしておられれば、きっと時間がかかっても悪口は風化すると思えます。それが月並みですが、積極的な対応技術であると確信しています。

◇ 毎月第4水曜に掲載します。

相談募集 老いや病気への不安、家族や人間関係で悩んでいることをお寄せください。400字以内にとめ、氏名、住所、電話番号、年齢、職業を明記の上、郵便番号930-0094富山市安住町2の14、北日本新聞社文化部「生き方アドバイス」係へ。メールの場合はページ左上のアドレスまで。掲載時は匿名となります。採用された人には図書カード。